富山県リハビリテーション病院・こども支援センター広報誌

Step by Step

平成30年9月25日発行

STEP 9

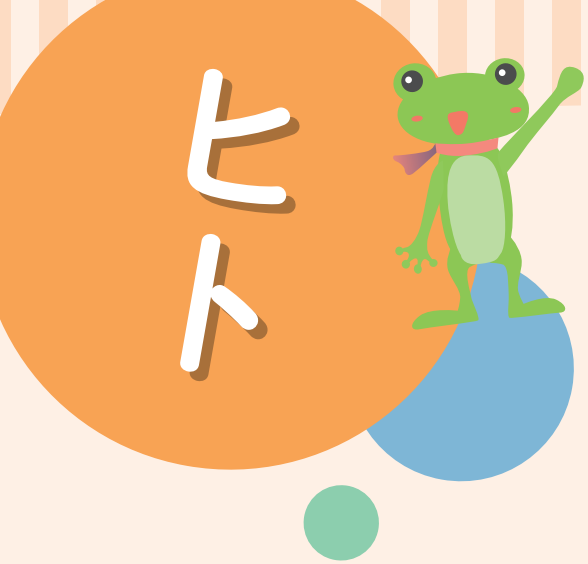
《特集》

その人らしい生活を支える ― 療養介護棟 ―

●わたしたちの思い～ソーシャルワーカー編～／高志福祉相談センター「にこっと」のご紹介

●病院からのお知らせ

ヒト



ひらお　まさと
平尾　正人 医師

プロフィール

1953年生まれ。北海道大学卒業後、富山医科薬科大学などの勤務を経て、1983年～2014年まで平尾内科医院の院長として地域医療に従事。2017年4月から当院に勤務し、2018年7月より同院療養介護棟の担当医も務める。（社）日本内科学会総合内科専門医。（社）日本神経学会神経内科専門医。

●患者さんに少しでも充実した人生をおくってもらいたい。

Q. 神経内科医を志されたきっかけを教えてください。

A. 患者さんの話や身体症状を手がかりに病気の原因を想定し、検査結果をもとに診断・治療する神経学の手法に感激しました。また、CTスキャン（画像検査）が全国に普及し、神経疾患の診断と治療に画期的な変化が起こり、そんな神経学を専攻する医者に憧れて自分も仲間に加わりたいと思ったことがきっかけです。

Q. 先生は7月から開始された療養介護棟の担当もされていますが、療養介護棟の必要性とはどのようなことですか?

A. 医療的なケアの必要性が高い患者さんや、在宅で介護を担っておられるご家族が高齢になったりなど、在宅での介護が困難な方々を受け入れる居場所が必要だということが大きいです。当院のマンパワーやノウハウを利用していただき、地域社会の中で生きがいのある生活をおくっていただくというのが当院の使命であり、その居場所を提供するのが療養介護棟だと思っています。

Q. 療養介護棟では、どんな症状の患者さんに、どのような診療をしているのですか?

A. 入院（入所）されている患者さんは、脳性麻痺や筋ジストロフィーの方や、ALS（筋萎縮性側索硬化症）を始めとする神経難病で気管切開や人工呼吸器の使用が必要な方を受入れています。同じ病名であっても、患者さんによって症状はさまざまです。症状に合わせて少しでも有意義な社会生活になるように考えるようにしています。また、医療的ケアを提供すると同時に、患者さんの全身をきちんと管理して合併症の予防や今までの治療の継続、できるだけ病気の進行を遅らせたりコントロールすることなどを中心に診療しています。今後は、ショートステイ（短期入所）での一時的な受入れも検討しています。

Q. 診療の中で心がけていることは何ですか?

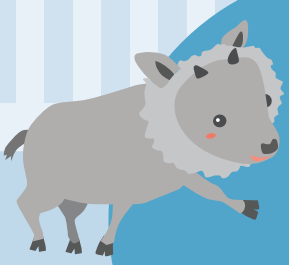
A. できるだけ患者さんやご家族の声をよく聴くところから診療を始めるように心がけています。昔、丁寧な問診や診療によって、多くの診断がつくと習いました。遺伝子診断や画像診断が万能な時代になっても、患者さんの話をよく聴いて診療を丁寧にすることは基本です。時間は要することですが、できるかぎり病室に出向いて患者さんやご家族の顔を見て話をしたり、丁寧に説明しながら治療を続けていくことを大切にしています。

＊

1つ1つの質問に謙遜されながらも丁寧にお答えくださった平尾先生。誠実な人柄が伝わる取材でした。平尾先生、療養介護棟のスタッフの皆さん、ありがとうございました。

平尾先生の神経内科外来は、
月曜午後、火曜金曜の
午前・午後です。

※外来受診・入院に関するご相談をご希望の方は、電話等にてご相談ください。



モノ

療養介護棟を知ろう！

療養介護棟は、旧（高志リハビリテーション）病院5階を改修し、平成30年7月にオープンした、当院の中では一番新しい病棟です。病院とは少し異なり治療がメインではなく、日常生活の中で、医療的ケア、健康管理、機能訓練、および日常生活上の介護・看護ケアを行い、患者さんの生活の質を向上させることを目的としています。

【入所対象】

脳性麻痺などの重症心身障害者、筋ジストロフィーやＡＬＳ（筋萎縮性側索硬化症）などの神経難病で医療を必要とする方々。

●生活の場である療養介護棟は、フロア全体が落ち着いた色合いとなっているため、リラックスして過ごせる環境となっています。病室は30床。入所だけでなく短期入所（医療型）も行っていく予定です。

●洗面所やトイレは、利用しやすい高さの調整や手すりなどが設置された造りになっています。浴室は、寝たまま入ることができる機械浴室やミスト浴室などが完備され、気管切開している方も安心して入浴していただけます。

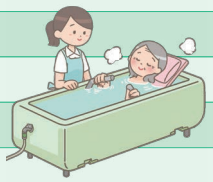
●広々としたデイルームスペースでは、普段の生活の中でメリハリをつけるために、趣味・レクリエーション活動やリハビリテーションなどを行っています。

●病棟や食堂から眺めることができる立山連峰はとても壮観で、当院の中でも随一のロケーションを誇っています。晴れた日に一望することができる雄大な立山連峰は、一見の価値ありです！

コト

療養介護棟の１日の流れや
日中活動（レクリエーション）の様子をご紹介！

6：00	起床、モーニングケア
7：30	朝食、口腔ケア
8：30	健康チェック
9：00	処置、更衣、水分補給、入浴などの日常生活
12：00	昼食、口腔ケア
13：30	病棟カンファレンス ＊医師、看護師、生活支援員、サービス管理責任者（ソーシャルワーカー）などの専門職員と連携して取り組んでいます。
14：00	水分補給、入浴などの日常生活
15：00	日中活動（レクリエーション） ＊リハビリテーション、カラオケ、映画鑑賞、音楽クラブ（ボランティア）、貼りえなど
18：00	夕食、口腔ケア
21：00	消灯



各自がボールを
転がして、
高い点数の的に
いかに近づけるかを競う
スポーツ（ボッチャ）に
みんなでトライ！

肢体不自由児・者の
美術展に出展を
希望している方は、
書道を特訓中です！

その他に、８月は初のイベントとして、七夕の集い（コンサート）を行いました。
療養介護棟では、患者さんに行事を通して季節の変化を感じてもらえるように、楽しいイベントも計画しています。

療養介護棟の皆さんに写真撮影にご協力頂きました。
ありがとうございました。
（写真掲載はご本人・ご家族の了承を得ています。）

～年間の行事予定～

9月	運動会	12月	クリスマス会
10月	バスハイク	1月	新年会
11月	ハロウィン仮装 カラオケ大会	2月	節分（豆まき）
		3月	ひな祭り

現在、運動会に
むけて準備中です！

わたしたちの思い
～ソーシャルワーカー編～

療養介護棟では、名前のとおり『療養介護サービス』を実施しています。病床数は30床と少なめですが、特長のある病棟で、重症心身障害者や筋ジストロフィー、ALS（筋萎縮性側索硬化症）などの神経難病患者の方々が入院され、医療と障害福祉サービスの両方を同時に受けていただきながら長期の療養生活を送っておられます。

そのため、入院されている患者さんは、例えば、口から食事を摂ることができずチューブから食事を摂っておられたり、自分で呼吸することが難しいため人工呼吸器を装着しておられるといった医療的ケアを必要とされる方々です。

入院期間は長期の方が多いため、病院としての役割はもとより、安心で過ごしやすい生活の場として暮らしていただけるよう、医師をはじめ、看護師、生活支援員、療法士の各スタッフが一丸となり、昼夜を通して医療、看護、生活介護、リハビリテーションを行っています。年間を通して各種行事も行っており、患者さんのご家族の方々とも連携しながら、徐々に充実させていきたいと思っています。

私は、この療養介護棟の開設準備の段階から相談員として携わる中で、他の病院の療養介護棟の視察や資料の作成等を通じ、多くのことを学ばせていただきました。オープン後はサービス管理責任者として、まだまだ経験不足ではありますが、患者さんが少しでも安心して充実した生活を送ることができるよう、ささいな困りごとにも耳を傾け、患者さんやご家族にとって身近な存在でいたいと思います。

患者さんとお話しされている齊藤さん

医療的ケアが必要になった方やそのご家族で日常生活にお困りの方、関心がある方がいらっしゃれば、ぜひ一度、当院までお気軽にご相談やお問い合わせをいただければと思います。

齊藤るりほ

高志福祉相談センター「にこっと」のご紹介

「にこっと」は、障害者（児）の相談窓口です。障害福祉サービス全般の相談について、専門の研修を受けた相談員が対応させていただきます。当センターの愛称は、NICOT「にこっと」です。

Normalization（ノーマライゼーション）
障害がある人もない人も生活条件を同じにすべきであるという考え方

Inclusion（インクルージョン）
障害があっても地域の資源を活用し市民が包み込んだ共生社会を目指すという理念
「包み込む共生社会」

Community（コミュニティ）
地域社会に役立つ

Trust（トラスト）
信頼

にこっと微笑むことができるように、一人一人のご希望に合わせた支援を一緒に考えていきます。まずはお気軽にお電話ください。

高志福祉相談センター「にこっと」　所長　斉藤　薫

病院からのお知らせ　＊詳細は、ホームページまたは、総合受付横の案内板でご確認ください

10月

2日(火)	教室	糖尿病教室(病気の知識、食事の基本)
3日(水)	教室	リハビリテーション家族教室(脊髄損傷編)
9日(火)	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害)
	教室	糖尿病教室(食事の管理、歯の衛生)
16日(火)	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、薬の知識)
17日(水)	サロン	こども家族グループ(高次脳機能障害児)
	サロン	保護者サロン(発達障害・学齢期)
23日(火)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・健康生活編)
	講座	ほっぷ支援講座(発達障害・幼児・学齢期編)
	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、運動療法)

11月

6日(火)	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害)
	教室	糖尿病教室(病気の知識、食事の基本)
13日(火)	教室	糖尿病教室(食事の管理、歯の衛生)
14日(水)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・介護編)
20日(火)	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、薬の知識)
21日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・未就学期)
	サロン	こども家族グループ(高次脳機能障害児)
27日(火)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・環境調整編)
	講座	ほっぷ支援講座(発達障害・成人期編)
	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、運動療法)
28日(水)	教室	家族教室(高次脳機能障害・自動車運転編)

平成30年10月7日（日）　13：30～15：30
サンシップとやま　参加無料
県民公開講座「高次脳機能障害者が地域で生きるために～家族・医療・福祉で地域の生活を支える～」

外来診療案内　受付時間【午前】8:30～11:00【午後】13:00～15:00　診療時間 9:00～17:00

平成 30 年 9 月 1 日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○		○		○		○		○	
神経内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○		○		○		○	
リハビリテーション科	○		○		○		○		○	
泌尿器科					○	○	○	○		
精神科				○						○
脳神経外科				○				○		
皮膚科						○				
眼科										休診中
耳鼻咽喉科				○				○		
歯科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児神経科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児整形外科	○	○	○		○		○	第1･4	○	○
子どもの心（児童精神科）					○	○	第1･2･4	○	○	○

交通アクセス

■**あいの風とやま鉄道線東富山駅下車、東富山駅口より地鉄バス**
東富山駅口より地鉄バス→リハビリセンター行乗車、終点下車

■**北陸自動車道**
金沢方面=富山西ICより国道8号線方面へ向かい、本郷西交差点右折、国道8号線新屋交差点左折
新潟方面=滑川ICより国道8号線方面へ向かい、稲泉交差点左折、国道8号線新屋交差点右折

■**富山駅南口バスターミナルより地鉄バス（所要時間約30分）**　リハビリセンター行 乗車、終点下車

富山地方鉄道 路線バス時刻表　平成30年4月1日改正

平日(月～金曜日)ダイヤ

リハビリセンター行き（下赤江･豊若町･済生会病院経由）		中央病院行き（下赤江･富山駅前経由）	
富山駅前	県リハビリセンター南口（ワークセンター前）	県リハビリセンター（新病院正面玄関横）	富山駅前
8:00	8:28	9:06	9:40
9:15	9:46	10:06	10:40
10:55	11:26	11:36	12:05
12:25	12:56	13:06	13:35
13:55	14:26	14:36	15:05
15:55	16:26	16:56	17:25
17:25	17:56	18:19	18:50

土曜･日曜･祝日(8月14日～16日)(12月30日～1月3日)ダイヤ

リハビリセンター行き（下赤江･豊若町･済生会病院経由）		中央病院行き（下赤江･富山駅前経由）	
富山駅前	県リハビリセンター南口（ワークセンター前）	県リハビリセンター（新病院正面玄関横）	富山駅前
8:10	8:38	9:31	10:00
9:30	9:58	10:16	10:45
11:30	12:01	12:06	12:40
12:30	13:01	13:06	13:40
14:30	15:01	15:06	15:40
16:20	16:51	17:06	17:40

病院の情報をもっと知りたい方は、ホームページにアクセスしてね！

【お問合せ先】
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
〒931-8517 富山県富山市下飯野36番地　☎(076)438-2233(代)
ホームページ　http://www.toyama-reha.or.jp